

『内反性増殖を呈する大腸 SSA/P (sessile serrated adenoma/polyp) の内視鏡像と臨床病理学的特徴および遺伝子背景の検討』

はじめに

近年、SSA/P由来のがん化が従来の遺伝子異常とは異なるserrated neoplasia pathway (鋸歯状病変のがん化；過形成性ポリープからSSA/Pそして鋸歯状腺腫、がん) という新たな発がん経路が提唱されるようになり、SSA/Pはマイクロサテライト不安定性(microsatellite instability; MSI) 陽性大腸がんの前駆病変として注目されております。一方、SSA/Pの中には、内反性増殖いわゆる粘膜下層側に発育伸展傾向を呈する症例が存在しておりますが、その内視鏡像や臨床病理学的特徴および遺伝子背景は明らかになっておりません。

1. 研究の対象

2010年1月～2015年12月に当院でSSA/P症例及び内反性増殖を呈するSSA/Pの治療を受けられた方を対象としております。研究実施期間：3年間

2. 研究の目的・方法

本研究では、内反性増殖を呈するSSA/Pの内視鏡像と病理組織学的特徴を明らかにし、組織構成細胞における分子発現異常、遺伝子発現異常を解析し、その生物学的特徴を明らかにしSSA/Pの特徴や病態を内視鏡像、臨床病理学的特徴及び遺伝子発現を検討します。当院に保管されている対象患者さんの診療情報(診療録、内視鏡画像・所見記録、病理所見など)を再度検討し、また組織から得られた目的とする分子や遺伝子発現異常・体細胞遺伝子構造異常・メチル化異常について解析を行います。対象となった患者さんの診療録から、その臨床的特徴に関する必要な情報を収集しますが、情報収集の作業に当たる人員は医師をはじめとする医療知識のある研究者です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：電子カルテから得られた臨床情報 等

試料：病理標本で作製されたプレパラート(診断時に作成したもの) 等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

当センターから外部への試料の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い

ます。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

研究終了後の試料・情報の取り扱い

臨床情報や解析結果等のデータはデータセンター/解析施設で半永久的に保管されます。

試料は解析終了後に返却します。

5. 研究組織

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 大野 康寛

国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 臨床腫瘍病理分野 小嶋 基寛

岩手医科大学付属病院 病理診断科 菅井 有

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合、あるいは同意を撤回される場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 高島 健司

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111 E-mail : ktakashi@east.ncc.go.jp

研究代表者

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 大野 康寛

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111 E-mail : yohno@east.ncc.go.jp

研究事務局

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 高島 健司

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL : 04-7134-6855 / FAX : 04-7134-6865 E-mail : ktakashi@east.ncc.go.jp